

かみくげ 恐竜の里新聞

平成23年2月25日

発行：上久下恐竜の里づくり協議会

第31号

上久下
地域づくり
センター
0795 78 0001「元氣村かみくげ」
新施設がまもなく完成

2月7日、「元氣村かみくげ」駐車場内に、化石発掘体験専用棟の新設工事と現施設の並びに化石はか多目的展示施設の増築工事がはじまり、自治協議会より代表6人が参加して棟上げ式が行われました。この拡張工事は市のまちづくり充実支援事業補助金を使って行われるもので、2月末に完成します。

発掘体験専用棟は広さ70平方メートル、明るい屋根つきの全天候型建物で、暑い夏や、雨天の日でも40～50人が一斉に体験できる施設となります。

化石展示、各種展示発表会など多目的に使用可能な別棟は、化石発掘体験で採集した恐竜や小動物の化石の展示のほか、骨格のレプリカの展示、恐竜や自然学習用の本などを陳列したり、セミナーなどにも使用できます。

夕暮れまで棟上げを手伝った参加者の一人は「これらの施設が完成したら、恐竜の里もさらに充実し、来訪者への満足度アップにつながる」と両方の建物を見上げていました。

落成式典は3月19日(土)10時30分から市長や県民局長らを招いて行なわれます。



当日の発掘体験は全員無料、手づくり絵本展やもちつき、とろろ汁など各種バザーを予定しています。

私の上久下生活

ータイン・ウタイン編 ⑧

長木 元義さん
まり子さんご夫妻
(太田)



長木元義さん(59歳)とまり子さん(62歳)ご夫妻は16年前に地元の人に物件を紹介されて太田に移り住まわれました。ご夫妻には3人の子どもさんがいて、内、長男、次男はすでに結婚して独立し、長女は両親と同居されています。

長木さんは香川県小豆島出身で、18歳の時、地元にあった円応教の小豆島教会に入り、その後本部の部員として就職

されております。15～16年間は本部の青少年活動をするかたわら、本を制作したり、結婚式や運動会など各種行事の司会、進行を数多く手掛けてきました。その後、各役職を歴任し全国各地の大小会合に出席して話をする機会が多くあったのが、今の自分が人前で話すことを楽にさせているのではと振り返っております。

「二十四の瞳」で知られる小豆島の小学校を出られた長木さんは山に囲まれた丹波の地と小豆島はよく似たところもあるが、海がないところが違うくらい。しかし、こちらの人には大人から子どもまで人間味が豊かだ。そんなところが大好きです、と。

また、今の住居の前の所有者から譲りうけた歴史本、郷土史本など自分の趣味と合致していることから、ここに来るべくして来たような運命を感じるともいわれていました。

現在は円応教の職を離れ、東大阪の製造会社で月曜から金曜まで勤務され、自治会内では公民館長として活躍されています。公民館長の任期中にやりたいことの一つに「地域の皆さんがくつろげる場所を作る必要がある」と考えておられます。また、地域出身の人が地域のことを覚えていて、いつか帰ってくるには情報の発信が大事だともいわれています。大きな事を考える前に、まず、地域内でできることからやっていきたい。そして、どんどん範囲を広げていければいい」と積極的に取り組む姿勢を示しておられます。

(レポーター SM)

神戸多聞台での野菜市に出店 元氣村かみくげ野菜グループ



昭和30年代に開発された垂水の多聞台田地へ野菜へ運んで売ってもらえないか、と兵庫県から依頼を受けて半年。多聞台は住民の高齢化が進み、中央公園にあったスーパが撤退し、約6千人が往復2時間かけて歩いて買い物に苦労していました。

9月末に県も加わって地元自治会との打ち合わせに参加。買い物難民の救済に協力できないかと協議しました。私たちは協力はさせてもらうが、野菜だけでは顧客が満足できないのもっと広く呼びかけることを提案し、10店舗以上が出店することになりました。

10月は雨で中止しましたが、11月からの発足で月2回実施されることに

なりました。

当初から多くの人出で売り場がとり囲まれてびっくりました。知り合いも増え、重い物は自宅まで配達もして喜ばれています。

野菜の種類も増え採算がとれるようになるまでは大変ですが、私たち野菜グループとして継続できるよう努力していきたいです。

もみじ祭りに来丹され、川代さくら祭りにも大型バスで来られる予定です。都市住民との交流で大変喜ばれています。

(レポート…西田幸男)

JAひかみ農協が 発掘ボランティアを激励

JA丹波ひかみ農協は2月7日、第5次発掘調査中の研究者、ボランティアを温かいトン汁やうどん・おにぎりなどで激励しました。発掘調査は水量の少ない冬季に限定していますが、当日も寒い現場の作業を終えて昼休みに入った発掘ボランティアらは温かいもてなしに舌づつみを打っていました。

昨年続きJA丹波ひかみ農協は発電所そばの広場にテントを張り、多くの男女スタッフが一般見学者にも同様に振る舞っていました。なかでも岡山から発掘現場の見学と化石発掘体験に訪れた50人ほどの親子連れらも同じ振る舞いサービスを受けて一同に感激していました。グループの引率者は運よくこの日に来たことを喜んで「昨年も50人ほ



どつれて来たが、今年の参加者は非常にラッキーだった。みんなこの自然豊かな土地が大好きです。是非来年以降も年間行事の計画に入れたい」と話していました。

川代の桜並木 テングス病対策行われる

自治会長会と老社会は2月19日(土)、テングス病にかかった桜の木の枝の伐採を行いました。県道77号線に沿って篠山市との市境から下滝駅前、地域つくりセンターまでの4キロメートル余りの区間のすべての桜の木を対象に、工事業者の高所作業車2台と作業員10人のほか、地元参加の20人が早朝から刻まで汗を流しました。

丹波市観光施設整備事業の補助金(16万円)と地元一部負担金とで実施

したもので、数年来の大きかりな事業でした。作業に参加された老社会のメンバーの一人は「これで綺麗な桜の花が咲くことでしょう」と顔をほころばしていました。作業に参加された皆さんお疲れさまでした。



- 3月の予定
- ◆ 3月5日(土) 企業組合「元氣村かみくげ」設立準備総会
午後1時30分
地域つくりセンター
 - ◆ 3月12日(土) 里づくり協議会例会
午後7時30分
 - ◆ 3月19日(土) 「元氣村かみくげ」増・新築落成式
10時30分
 - ◆ 3月25日(金) 元氣村にて
午後7時30分 自治会長会
 - ◆ 3月26日(土) パナソニックボランティアグループとの協働クリン作戦
10時